

令和6年度 那須町まち・ひと・しごと創生推進事業

基本目標1 那須で稼ぎ、安心して働けるようにする事業

1-1 湯本地区活性化事業(ロープウェイ) ≪寄附募集額:600万円≫

湯本地区は、那須町の観光の中心地ですが、建物の老朽化や廃屋化、事業継承者不足による廃業等が懸念されております。特に大丸地区では、廃屋が目立ち景観を著しく害している状況です。そこで現在運行している那須ロープウェイを核として湯本地区活性化の可能性を調査し、観光の中心地である本地区の賑わいを取り戻すことを目指しています。

1-2 那須町観光協会誘客対策事業(DMO体制推進) ≪寄附募集額:1,000万円≫

令和5年9月に観光庁による「観光地域づくり法人(DMO)」の「地域DMO」に那須町観光協会が登録されました。

DMOは地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔となる組織で、那須町への誇りと愛着を醸成し、稼ぐ力を引き出していくことを目指しています。また、那須町観光協会の安定的な運営とDMO体制の推進を図り、町の観光行政の発展に寄与すること目指し、「DMO体制」の推進を支援しています。

1-3 道の駅 那須高原友愛の森 新館農村レストラン新築工事 ≪寄附募集額:1億円≫

道の駅那須高原友愛の森再整備に伴い、当該道の駅への来場者数の増加が見込まれます。現在のレストランでは収容人数に限りがあることから、飲食スペースを拡充するため建て替え工事を行います。

また、那須町の食材を使用した新メニューを開発・提供することにより、那須町の食と、その基本となる野菜、肉などの食材の魅力をより多くの方に発信していきます。



1-4 道の駅 東山道伊王野 水車取替工事 ≪寄附募集額:40万円≫

道の駅東山道伊王野に設置してある水車が老朽化により故障したことから、取替のための工事を行います。

この水車は、当該道の駅のシンボルとなっており、周囲の田園風景にとけこんで、農村の景色を彩ってきました。その水車を町内の木材を使用して再生し、さらなる地域の活性化を進めていきます。



基本目標2 那須とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる事業

2-1 リビングギフト推進交付金

《寄附募集額:3,000万円》

リビングギフト推進交付金は、企業版ふるさと納税を活用して、地域における社会課題を解決する取り組みを行う団体を支援するものです。

地域で生じている社会課題を組織外からアイデアや技術を取り入れながら、新たな価値を創出する「オープンイノベーション」を実践する場として発展させ、異なる強みを持つ企業、行政、住民などが共創することができるよう推進する事業に対し交付します。

2-2 那須町ふるさとアプリ運用事業

《寄附募集額:180万円》

別荘所有者及び二地域居住者の方が、地域と繋がるさまざまな「きっかけ」をつくる「那須町ふるさとアプリ」を運用しています。

公共施設だけでなく民間施設と連携を図り、サービスの向上そして那須に来るきっかけとなるよう展開しています。また、観光以上定住未滿の関係人口と言われる層のかかわりを深化します。

アプリでは、ポイントや町内イベント・体験情報やお得情報の閲覧、ARきゅーびーとの写真撮影、那須町へのふるさと納税等が利用できます。



2-3 テレワーカー育成プログラム

《寄附募集額:100万円》

二地域居住等に興味がある非テレワーカーの人たちに対して、テレワーク就業や副業の理解促進・スキルアップ講座を実施することにより、テレワークによる二地域居住及び移住、定住を促進します。

2-4 地域交流促進プログラム

《寄附募集額:20万円》

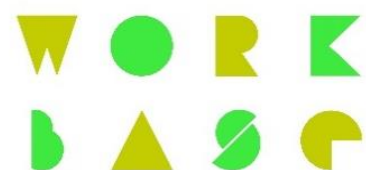
二地域居住等に関心を示す層に対し、二地域居住や那須町の魅力を体感してもらい二地域居住者等の増加を図るとともに、就労・居住体験や、地域住民との交流等を通じて地域の担い手となってもらうきっかけを提供します。

2-5 ワークベース那須管理運営事業

《寄附募集額:370万円》

ワークベース那須は、地方創生テレワーク交付金を活用し、社会情勢の中で変化しつつある働き方に対応する拠点施設として、令和4年4月に開設しました。

カフェのようなオープンスペースの coworking スペースや個室を活用してテレワークを推進しています。また、お試しサテライトオフィス事業など新たなコミュニティが生まれる場として発展させていきます。



ワークベース那須

基本目標3 那須で結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

3-1 結婚支援イベント開催

《寄附募集額：80万円》

令和5年における那須町の出生数は55人で、年々子どもの生まれる数が減少しています。ライフスタイルや結婚意識の変化により、未婚・晩婚化が進み、少子化の要因となっていることから、結婚支援事業に取り組んでいます。

未婚・晩婚が増える一方で、結婚を希望している独身者も多いことから、出会いの場の提供とスキルアップセミナーを含めた婚活事業を福島県西郷村と共同開催しています。



3-2 小中学校タブレット通信料

《寄附募集額：1,000万円》

那須町では、GIGAスクール構想において、1人1台タブレット端末を導入しています。

子どもたちが校舎内のみならず、校庭や体育館、校外学習など様々な学習の場面で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現できること、また、家庭の通信環境の事情に左右されることなく、公教育として教育機会の不公平・不平等を生じさせることなく、すべての子どもたちに平等に学習環境が提供できること、加えて、管理に係る負担面や情報セキュリティ対策面での利点なども踏まえ、LTE通信を採用し、その通信料を負担しています。

3-3 小中学校図書支援員の配置

《寄附募集額：470万円》

那須町では、3名の図書支援員を雇用しています。町内の小中学校を巡回し、司書教諭や図書ボランティア等と連携をしながら、図書に関する専門的な知識を基に学校図書館教育の支援をしています。

読書活動をとおして、読書の楽しさを味わい、心豊かな児童・生徒を育て、学習に活かせるよう支援していきます。



3-4 広島平和記念式典中学生派遣事業

《寄附募集額：160万円》

那須町では、自然豊かな歴史ある那須町を愛し、平和な世界の実現に向け、平和の尊さ、戦争や核兵器の恐ろしさを認識してもらうことを目的として、町の将来を担う中学生を広島平和記念式典に派遣しています。

この事業は平成27年度から開始され、感染症対策のため3年間中止しておりましたが、令和6年度は7回目の実施となり、10名の代表者を派遣しました。代表者は、広島平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学、被爆体験講話、ヒロシマ青少年平和の集いでのディスカッションに参加し、79年前の原爆の実相に触れ、平和の尊さ、戦争の恐ろしさ、命の尊さについて学びました。代表者10名は、未来への伝承者となり、平和へのバトンを次の世代へ繋いでいきます。

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な那須をつくる事業

4-1 お年寄り安心コール事業

《寄附募集額：60万円》

ひとり暮らしの高齢者が、自宅で急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図り、安心して生活できるようにお年寄り安心コール事業を実施しています。

65歳以上のひとり暮らしで、心身に不安のある方に、緊急通報装置を無償で貸出します。緊急時等に装置を押すことにより、受信センターに連絡され、必要に応じ救急隊出動の要請等を行います。

また、受信センターでは、日常における健康相談やセンサーによる見守りも実施しています。

4-2 福祉タクシー料金助成事業

《寄附募集額：1,000万円》

移動手段が困難な障害者や高齢者の日常生活の利便性向上と社会参加促進のため、タクシー券を交付しています。

重度心身障害者や75歳以上の高齢者のみの世帯で構成される方にタクシー券を交付し、その料金の一部を助成しています。



4-3 自主防災組織活動支援事業

《寄附募集額：300万円》

震災や水害等が多発している近年では、自助・共助による防災活動の重要性が改めて認識されています。自主防災組織とは、地域住民が協力して、「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、日頃からさまざまな活動を行う組織です。

災害が発生した際の初動期には、防災関係機関の対応のみでは困難な状況も発生することから、「互助」の精神に基づき地域住民が相互助け合い、避難実施や救出救助に努めることが被害の軽減に大きな役割を果たします。町は、自主防災組織の組織化を推進するため、既存の自治会等の組織を活用し、地域住民の自主的な防災組織の設立及び防災訓練の実施等を補助することで地域の防災力の向上を図っています。

4-4 図書館整備事業

《寄附募集額：200万円》

那須町立図書館の老朽化に伴う修繕工事や管内の備品整備を行い、図書館の長寿命化と利便性の向上を図ります。

令和6年度は、高圧機器の更新や本棚、プロジェクター・スクリーンなどを購入します。



4-5 飲酒運転撲滅プロジェクト「SDD NASU」

《寄附募集額：1,000万円》

SDDとは、「STOP! DRUNK DRIVING」の略で、「SDD NASU」は、飲酒運転撲滅を1人でも多くの方に賛同いただき、この世から飲酒運転をなくそうというメッセージを那須から発信するプロジェクトです。

プロジェクトとして、飲酒運転撲滅キャンペーンの展開、SDDオフィシャルサイト及び町ホームページでの情報発信、協賛パートナーの獲得、集大成として「LIVE SDD NASU 2024」を実施します。

「LIVE SDD NASU 2024」は、SDDの趣旨に賛同したアーティストによるライブを行い、ライブへの参加費は趣旨に賛同した寄付として、交通遺児等育成基金に寄付します。

